



平成28年度前期「学校評価アンケート」ご協力ありがとうございました。学校評価の結果を報告いたします。



子どもたちがより良い教育を享受できるよう教育活動の目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について検証し改善を図り、子どもたちにさらにつけていくべき力を目指して取り組むため、「学校評価」を実施しています。平成28年度前期「学校評価アンケート」の集計結果及びその考察がまとまりましたので、お知らせいたします。

この結果及び考察は、後日、学校運営協議会において本校の様子や課題について報告し、ご示唆や解決に向けてのご意見をいただく予定をしています。別途、お知らせさせていただきます。

本結果を基に、学校・家庭・地域がそれぞれの教育力を発揮して具体的な関わり、協力・連携を考え、よりよい子どもたちの成長への支援と学校生活のための改善をはかりながら、今後の教育の充実にむけ努めていけるよう、さらなるご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、結果の集計は「京都市学校評価システム」を活用し、<児童><保護者><教職員>にて取らせていただきましたアンケート10項目の結果の<実現度>の「よくできている」「大体できている」を合わせた到達度を『割合』で示させていただきます。

平成28年度	前期学校評価結果		
質問項目	児童	保護者	教職員
1 子どもは、楽しく学校に行っている。	92.5%	96.2%	98.2%
2 子どもは、進んであいさつができています。	93.4%	78.5%	75.0%
3 子どもは、家で読書をしている。	75.6%	52.3%	81.3%
4 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。	91.5%	92.3%	81.3%
5 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。	92.0%	93.1%	81.3%
6 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨きをし、朝ごはんを食べるなど、基本的な生活習慣が身についている。	84.4%	88.5%	93.8%
7 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。(15分×学年)	85.5%	68.5%	75.0%
8 学校は、わかりやすい授業をしている。	86.0%	92.3%	93.8%
9 学校は、安全面に配慮している。	95.0%	93.8%	93.8%
10 学校には気軽に相談できる教職員がいる。	81.8%	83.8%	98.2%

* <よくできている><大体できている><あまりできていない><できていない>の各項目における3者の回答結果より、『現在の実現(達成)度』を割合で示しています。

* 下線は、達成度が低い状態、及び他の2者と達成度の意識の差があるものです。



『今後も伸ばしていきたいこと』

- * 子どもは楽しく学校に行っている。
- * 学校は、安全面に配慮している。

『さらに取り組むべき課題』

- * 子どもは、家で読書をしている。
- * 学校は、わかりやすい授業をしている。
- * 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。
- * 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。



やさしく【豊かな心】

1. 子どもは、楽しく学校に行っている。

3者ともに実現度が9割を超え、安定した学校生活を送ることができていると言えます。しかしながら、全ての子どもが安心して学校生活を送るため「楽しく行っている」と思えない個々の児童の思いに寄り添い把握しながら、取り組んでいきます。

4. 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。

児童・保護者共に9割を超え、上記1に併せて多くの児童が安心して学校生活を楽しめていると考えられます。ただ、そう思えない少数の子どもと友だち同士の関わりを気にかけている教職員の状況が結果に表れています。この結果を具体的に把握し、誰もが安心できる学校へ取組を進めます。

2. 子どもは、進んであいさつができています。

児童の「あいさつ」に対する意識の向上は、子どもたちの姿に見られ、昨年度末の本項目の達成度から3%向上していることにも表れています。しかし、保護者・教職員の割合と差が見られました。

これは「自ら」や「場に応じて」などを期待することから生じた差ではと考えられます。「あいさつ」は互いに大切にする言動であり、人との温かな関係づくりとなる意識を高め「自ら」あいさつしあう学校へと取り組んでいきます。



10. 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。

児童・保護者の達成度と教職員に差が見られ、課題と捉えています。改めて、学校として子どもの願いや思いに寄り添い、指導すべきことは指導しながらも、個々の子どものよさや活動の頑張りを、児童にも保護者の方々にもタイムリーに伝えることを大事にして、真摯な信頼関係を築いていきたいと思えます。

また、スクールカウンセラーの先生をはじめ、様々な立場で子どもたちに関わっていただいている先生方とさらに子どもたちが関わる機会を工夫していきます。

かしく【確かな学力】

3. 子どもは、家で読書をしている。

児童は昨年末の達成度の割合より10%以上の向上が見られました。けれども、依然として実現度は不十分な状況と言えます。また、保護者と教職員の達成度に30%弱の差が見られるのは、学校では家庭学習に組み入れるなどの取組に手ごたえが出てきたからと考えます。しかし、ご家庭で、子どもたちが自ら本を開き、没頭するという姿が見られにくいことの結果ではと考えます。



7. 子どもは、家庭学習(宿題)の習慣が身についている。

家庭学習においても、上記3同様に児童は昨年末より4%程の達成度が向上しています。しかし、上保護者・教職員との差が達成度に見られます。家庭学習は自分のペースでスケジュールし、集中して取り組み、自立学習の力を培います。

上記3「家で読書をしている」と併せ、家庭学習の時間や内容の見直しをしていくことが必要だと考えています。学年に応じた家庭学習を生活リズムと併せて児童が考え設定することから取り組み、ご家庭へ家庭学習はもちろん、読書習慣や日々の取組をさらにお伝えし共有しながら、学校と家庭で声かけや協力をしていけるよう取組を考えています。

8. 学校はわかりやすい授業をしている。

3者とも8割を超え、良好な結果とも考えられるものの、児童と(指導者)教職員の達成度の差を課題と考えます。

個々の児童の学習状況をさらに確かに把握し、どの子も見通しを持って、意欲的・主体的に学習に臨み、個のよさや既習を十分に発揮できる授業を展開する授業づくりを、学校として、さらに研鑽していきます。



たくましく【健やかな体】

5. 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。

児童・保護者とも9割を超え、昨年に続き良好な状況が見られ、「きまりやルールを守る」ことが意識されているといえる結果と言えます。教職員は、さらに子どもたちが、進んできまりやルールを守り、みんなが気持ちのよい生活を送ることができるよう、個々の子どもが考え判断し行動することを目指しているため、厳しく評価したことが結果にも表れています。今後も、様々な場においても、個々の子どもが周りの人や状況を考えて判断・行動していけるよう、日々の学習や生活の中で自ら行動していく力を高めていきたいと思えます。

6. 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨き朝ごはんなど、基本的な生活習慣が身についている。

3者とも8割を超えているものの、課題として考えています。本項目は、子どもたちが健やかに安全に学校生活を送り、個々が持つよさや可能性を十分に発揮さらに力を高めるための大事な基底です。

基本的な生活習慣の柱である「早寝・早起き、洗顔・歯みがき、朝ご飯・排便」について、年2回の生活点検だけでなく、日々の健康観察を主に指導や声かけをさらに進め、子どもたち個々の生活リズムを把握し、ご家庭とより連携を強めたいと思えます。



9. 学校は、安全面に配慮している。

3者とも達成度の割合から「良好な状況」と考えられます。特に、児童は「安全に気をつけて安心して活動できている」という質問項目に対し95%の達成度と回答しています。児童の安全意識が向上していると嬉しい結果として捉えられます。今後、さらに学校生活におけるルールについて子どもたち自らが考えていく機会を増やし、子どもたちの安全意識の向上と、行動化を高めていきたいと思えます。

北醍醐小学校の子どもたちのよさと、伸ばしたい力

素直で、人懐こく、温和である。

知的な好奇心が高く、理解的な学習の意欲が旺盛である。

すべきことがわかると、仲間と協力し合い、活発に活動する。

家庭や地域で、大切にされてきたことを実感しており、自尊感情が高い。



北醍醐小学校の子どもたちは、以上のようなよさの特徴があります。そのため、授業をはじめ見通しがもてる学校生活の活動においては、意欲的であり楽しんで活動しています。

しかしながら、子どもたちの未来を考えた時、「子どもたちの6割程が、大学卒業後、今は存在していない職業に就く。」「さらに今後、仕事の自動化が進む可能性が高い。」といったことを予測する専門家の声があります。子どもたちは、これまで以上に複雑で変化の激しい社会で生きる、様々な国の人々と異なった文化や価値観を理解しながら関わっていく、今までの経験や概念では解決しにくい社会状況と向き合うといったことが、子どもたちの将来に待ち受けています。このような子どもたちの将来を見据え、今、子どもたちは、義務教育で「何を知って、何ができ、それらをどう使って、主体的に判断したり、協力して解決したりする」力を培い、伸ばしていくことが求められています。これは、まさに北醍醐小学校の子どもたちに育み、伸ばさせていきたい力でもあります。

「学校だより4月号」にてお伝えしていますように、北醍醐小学校では、子どもたちが、人生の歩みにおいて社会で、「自ら主体となって生きる子ども」を願っています。そのため、全ての教育活動を通して、「自分を知り、自分を律する力 課題を見つけ、解決する力 夢や希望をつくりあげる力 人と共に社会を生きる力 社会に貢献する力」の5つの

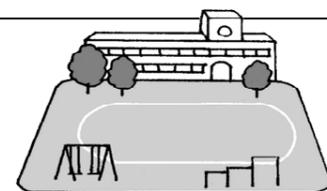
力を培うことを目指し、学校教育目標に表わして取り組んでいるところです。

北醍醐小学校の子どもたちは、学習したことを「理解する・技能を身につける」力が高いです。また、その力はすべきことを示されたり、経験(慣れていること)したりしたことの中で、安心して発揮します。しかし、その力を基に、北醍醐小学校の子どもたちが、「『主体的に』活用して創り出す、『自ら』考え判断して行動する、互いに知識や技能を出し合っ

て問題を解決する」姿へとしていくことが、これから生きる子どもたちの課題と考えています。今回、第1回学校評価のアンケート集計結果にても、多くの項目で子どもたちが、「主体的に」状況を捉えて判断・行動したり、「なぜそうすべきか」を理解して「自ら」の生活や活動をよりよく進めていったりするための力を育成していくことを改めて実感しています。自分の健康や安全のために「主体的に」生活リズムを整える、「自ら」あいさつすることでさらに人との関係を気持ちのよいものにしていく、授業で学習した人物について「自ら」本を開き探る、といった具体的な姿を意識し、「主体的に」「自ら」をキーポイントに、あらゆる学校生活の場で取り組んでいきたいと思ひます。

そのためにも、指示や大人の思いを示すことを控え、子どもたちが情報や状況から考えて、判断したり進めたりする機会を大切にしていきます。同時に、子どもたちの判断や活動を「褒める」「認める」ことを大事にし、子どもたちの『主体的』な力を伸ばしていきたいと思ひます。

北醍醐小学校の子どもたちがもっている力や可能性を、社会の中で発揮していけるよう、ぜひ、ご家庭や地域での生活においても『主体的』『自ら』をキーポイントに関わっていただき、『主体的』な姿を、共に応援していただけると幸いです。よろしくお願ひいたします。



学校生活全体に関わるご意見・お考え

掃除時間の取り扱いに関してご意見をいただきました。今年度、初めての試みとして実施しておりますので、その成果と課題を更に検討してまいります。

図書室利用に関してご意見をいただきました。可能な範囲で図書室の開放をしておりますが、更なる開放時間を検討してまいります。

二足制についてご意見をいただきました。二足制仕様の校舎及び設備でないため、ご指摘のように廊下はかなり汚れが目立ちます。しかし一足制にすると教室内の汚れがひどくなるため二足制は継続いたします。

修学旅行についてご意見をいただきました。名古屋方面となり遠方を望まれるところですが、修学旅行実施には上限の料金が定められているため出かける範囲が限定されます。

教職員の不十分な挨拶や気軽に相談できないところをご指摘いただきました。この点は十分に反省し、声をかけていただければ幸いです。

学校備品についてご意見をいただきました。可能な範囲で必要なものを揃え、対応いたします。



遊び時間の活用についてご意見をいただきました。子どもたちが、それぞれの思いを十分に出来る時間になるよう対応してまいります。

土曜学習についてご意見をいただきました。自らの課題を克服するために必要となる力を培うという観点から今年度は自分で学習課題を準備していただくという積極的な参加スタイルを基本としました。

なお、実施回数につきましては、年度当初の計画準備不足から予定回数が減ってしまいました。申し訳ありませんでした。

学習指導に関して貴重なご意見をいただきました。児童の学力並びに学習意欲の向上に結びつく参考とさせていただきます。

通用門の施錠についてご意見をいただきました。様々な管理と同様、通用門に関しましても安全管理を徹底してまいります。

その他にも、お褒めやお喜びの声を多数いただきました。いろいろな角度からいただきましたご意見を今後の学校運営に反映させていこうと考えています。ありがとうございました。



平成28年度前期「学校評価アンケート」ご協力ありがとうございました。学校評価の結果を報告いたします。



子どもたちがより良い教育を享受できるよう教育活動の目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について検証し改善を図り、子どもたちにさらにつけていくべき力を目指して取り組むため、「学校評価」を実施しています。平成28年度前期「学校評価アンケート」の集計結果及びその考察がまとまりましたので、お知らせいたします。

この結果及び考察は、後日、学校運営協議会において本校の様子や課題について報告し、ご示唆や解決に向けてのご意見をいただく予定をしています。別途、お知らせさせていただきます。

本結果を基に、学校・家庭・地域がそれぞれの教育力を発揮して具体的な関わり、協力・連携を考え、よりよい子どもたちの成長への支援と学校生活のための改善をはかりながら、今後の教育の充実にむけ努めていけるよう、さらなるご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、結果の集計は「京都市学校評価システム」を活用し、<児童><保護者><教職員>にて取らせていただきましたアンケート10項目の結果の<実現度>の「よくできている」「大体できている」を合わせた到達度を『割合』で示させていただきます。

平成28年度	前期学校評価結果		
質問項目	児童	保護者	教職員
1 子どもは、楽しく学校に行っている。	92.5%	96.2%	98.2%
2 子どもは、進んであいさつができています。	93.4%	78.5%	75.0%
3 子どもは、家で読書をしている。	75.6%	52.3%	81.3%
4 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。	91.5%	92.3%	81.3%
5 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。	92.0%	93.1%	81.3%
6 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨きをし、朝ごはんを食べるなど、基本的な生活習慣が身についている。	84.4%	88.5%	93.8%
7 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。(15分×学年)	85.5%	68.5%	75.0%
8 学校は、わかりやすい授業をしている。	86.0%	92.3%	93.8%
9 学校は、安全面に配慮している。	95.0%	93.8%	93.8%
10 学校には気軽に相談できる教職員がいる。	81.8%	83.8%	98.2%

* <よくできている><大体できている><あまりできていない><できていない>の各項目における3者の回答結果より、『現在の実現(達成)度』を割合で示しています。

* 下線は、達成度が低い状態、及び他の2者と達成度の意識の差があるものです。



『今後も伸ばしていきたいこと』

- * 子どもは楽しく学校に行っている。
- * 学校は、安全面に配慮している。

『さらに取り組むべき課題』

- * 子どもは、家で読書をしている。
- * 学校は、わかりやすい授業をしている。
- * 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。
- * 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。



やさしく 【豊かな心】

1. 子どもは、楽しく学校に行っている。

3者ともに実現度が9割を超え、安定した学校生活を送ることができていると言えます。しかしながら、全ての子どもが安心して学校生活を送るため「楽しく行っている」と思えない個々の児童の思いに寄り添い把握しながら、取り組んでいきます。

4. 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。

児童・保護者共に9割を超え、上記1に併せて多くの児童が安心して学校生活を楽しんでいると考えられます。ただ、そう思えない少数の子どもと友だち同士の関わりを気にかけている教職員の状況が結果に表れています。この結果を具体的に把握し、誰もが安心できる学校へ取組を進めます。

2. 子どもは、進んであいさつができています。

児童の「あいさつ」に対する意識の向上は、子どもたちの姿に見られ、昨年度末の本項目の達成度から3%向上していることにも表れています。しかし、保護者・教職員の割合と差が見られました。

これは「自ら」や「場に応じて」などを期待することから生じた差ではと考えられます。「あいさつ」は互いに大切にする言動であり、人との温かな関係づくりとなる意識を高め「自ら」あいさつしあう学校へと取り組んでいきます。



10. 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。

児童・保護者の達成度と教職員に差が見られ、課題と捉えています。改めて、学校として子どもの願いや思いに寄り添い、指導すべきことは指導しながらも、個々の子どものよさや活動の頑張りや、児童にも保護者の方々にもタイムリーに伝えることを大事にして、真摯な信頼関係を築いていきたいと思っております。

また、スクールカウンセラーの先生をはじめ、様々な立場で子どもたちに関わっていただいている先生方とさらに子どもたちが関わる機会を工夫していきます。

かしく 【確かな学力】

3. 子どもは、家で読書をしている。

児童は昨年末の達成度の割合より10%以上の向上が見られました。けれども、依然として実現度は不十分な状況と言えます。また、保護者と教職員の達成度に30%弱の差が見られるのは、学校では家庭学習に組み入れるなどの取組に手ごたえが出てきたからと考えます。しかし、ご家庭で、子どもたちが自ら本を開き、没頭するという姿が見られにくいことの結果ではと考えます。



7. 子どもは、家庭学習(宿題)の習慣が身についている。

家庭学習においても、上記3同様に児童は昨年より4%程の達成度が向上しています。しかし、上保護者・教職員との差が達成度に見られます。家庭学習は自分のペースでスケジュールし、集中して取り組み、自立学習の力を培います。

上記3「家で読書をしている」と併せ、家庭学習の時間や内容の見直しをしていくことが必要だと考えています。学年に応じた家庭学習を生活リズムと併せて児童が考え設定することから取り組み、ご家庭へ家庭学習はもちろん、読書習慣や日々の取組をさらにお伝えし共有しながら、学校と家庭で声かけや協力をしていけるよう取組を考えています。

8. 学校はわかりやすい授業をしている。

3者とも8割を超え、良好な結果とも考えられるものの、児童と(指導者)教職員の達成度の差を課題と考えます。

個々の児童の学習状況をさらに確かに把握し、どの子も見通しを持って、意欲的・主体的に学習に臨み、個のよさや既習を十分に発揮できる授業を展開する授業づくりを、学校として、さらに研鑽していきます。



たくましく 【健やかな体】

5. 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。

児童・保護者とも9割を超え、昨年に続き良好な状況が見られ、「きまりやルールを守る」ことが意識されているといえる結果と言えます。教職員は、さらに子どもたちが、進んできまりやルールを守り、みんなが気持ちのよい生活を送ることができるよう、個々の子どもが考え判断し行動することを目指しているため、厳しく評価したことが結果にも表れています。今後も、様々な場においても、個々の子どもが周りの人や状況を考えて判断・行動していけるよう、日々の学習や生活の中で自ら行動していく力を高めていきたいと思っております。

6. 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨き朝ごはんなど、基本的な生活習慣が身についている。

3者とも8割を超えているものの、課題として考えています。本項目は、子どもたちが健やかに安全に学校生活を送り、個々が持つよさや可能性を十分に発揮しさらに力を高めるための大事な基底です。

基本的な生活習慣の柱である「早寝・早起き、洗顔・歯みがき、朝ご飯・排便」について、年2回の生活点検だけでなく、日々の健康観察を主に指導や声かけをさらに進め、子どもたち個々の生活リズムを把握し、ご家庭とより連携を強めたいと思っております。



9. 学校は、安全面に配慮している。

3者とも達成度の割合から「良好な状況」と考えられます。特に、児童は「安全に気をつけて安心して活動できている」という質問項目に対し95%の達成度と回答しています。児童の安全意識が向上していると嬉しい結果として捉えられます。今後、さらに学校生活におけるルールについて子どもたち自らが考えていく機会を増やし、子どもたちの安全意識の向上と、行動化を高めていきたいと思っております。

北醍醐小学校の子どもたちのよさと、伸ばしたい力

素直で、人懐こく、温和である。

知的な好奇心が高く、理解的な学習の意欲が旺盛である。

すべきことがわかると、仲間と協力し合い、活発に活動する。

家庭や地域で、大切にされてきたことを実感しており、自尊感情が高い。



北醍醐小学校の子どもたちは、以上のようなよさの特徴があります。そのため、授業をはじめ見通しがもてる学校生活の活動においては、意欲的であり楽しんで活動しています。

しかしながら、子どもたちの未来を考えた時、「子どもたちの6割程が、大学卒業後、今は存在していない職業に就く。」「さらに今後、仕事の自動化が進む可能性が高い。」といったことを予測する専門家の声があります。子どもたちは、これまで以上に複雑で変化の激しい社会で生きる、様々な国の人々と異なった文化や価値観を理解しながら関わっていく、今までの経験や概念では解決しにくい社会状況と向き合うといったことが、子どもたちの将来に待ち受けています。このような子どもたちの将来を見据え、今、子どもたちは、義務教育で「何を知って、何ができ、それらをどう使って、主体的に判断したり、協力して解決したりする」力を培い、伸ばしていくことが求められています。これは、まさに北醍醐小学校の子どもたちに育み、伸ばさせていきたい力でもあります。

「学校だより4月号」にてお伝えしていますように、北醍醐小学校では、子どもたちが、人生の歩みにおいて社会で、「自ら主体となって生きる子ども」を願っています。そのため、全ての教育活動を通して、「自分を知り、自分を律する力 課題を見つけ、解決する力 夢や希望をつくりあげる力 人と共に社会を生きる力 社会に貢献する力」の5つの

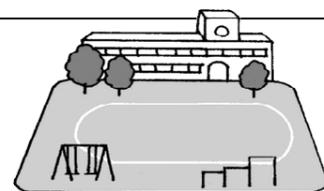
力を培うことを目指し、学校教育目標に表わして取り組んでいるところです。

北醍醐小学校の子どもたちは、学習したことを「理解する・技能を身につける」力が高いです。また、その力はすべきことを示されたり、経験(慣れていること)したりしたことの中で、安心して発揮します。しかし、その力を基に、北醍醐小学校の子どもたちが、「『主体的に』活用して創り出す、『自ら』考え判断して行動する、互いに知識や技能を出し合って問題を解決する」姿へとしていくことが、これから生きる子どもたちの課題と考えています。

今回、第1回学校評価のアンケート集計結果にても、多くの項目で子どもたちが、「主体的に」状況を捉えて判断・行動したり、「なぜそうすべきか」を理解して「自ら」の生活や活動をよりよく進めていったりするための力を育成していくことを改めて実感しています。自分の健康や安全のために「主体的に」生活リズムを整える、「自ら」あいさつすることでさらに人との関係を気持ちのよいものにしていく、授業で学習した人物について「自ら」本を開き探る、といった具体的な姿を意識し、「主体的に」「自ら」をキーポイントに、あらゆる学校生活の場で取り組んでいきたいと思えます。

そのためにも、指示や大人の思いを示すことを控え、子どもたちが情報や状況から考えて、判断したり進めたりする機会を大切にしていきます。同時に、子どもたちの判断や活動を「褒める」「認める」ことを大事にし、子どもたちの『主体的』な力を伸ばしていきたいと思えます。

北醍醐小学校の子どもたちがもっている力や可能性を、社会の中で発揮していけるよう、ぜひ、ご家庭や地域での生活においても『主体的』『自ら』をキーポイントに関わっていただき、『主体的』な姿を、共に応援していただくと幸いです。よろしくお願いいたします。



学校生活全体に関わるご意見・お考え

掃除時間の取り扱いに関してご意見をいただきました。今年度、初めての試みとして実施しておりますので、その成果と課題を更に検討してまいります。

図書室利用に関してご意見をいただきました。可能な範囲で図書室の開放をしておりますが、更なる開放時間を検討してまいります。

二足制についてご意見をいただきました。二足制仕様の校舎及び設備でないため、ご指摘のように廊下はかなり汚れが目立ちます。しかし一足制にすると教室内の汚れがひどくなるため二足制は継続いたします。

修学旅行についてご意見をいただきました。名古屋方面となり遠方を望まれるところですが、修学旅行実施には上限の料金が定められているため出かける範囲が限定されます。

教職員の不十分な挨拶や気軽に相談できないところをご指摘いただきました。この点は十分に反省し、声をかけていただけるよう心がけてまいります。

学校備品についてご意見をいただきました。可能な範囲で必要なものを揃え、対応いたします。



遊び時間の活用についてご意見をいただきました。子どもたちが、それぞれの思いを十分に出来る時間になるよう対応してまいります。

土曜学習についてご意見をいただきました。自らの課題を克服するために必要となる力を培うという観点から今年度は自分で学習課題を準備していただくという積極的な参加スタイルを基本としました。

なお、実施回数につきましては、年度当初の計画準備不足から予定回数が減ってしまいました。申し訳ありませんでした。

学習指導に関して貴重なご意見をいただきました。児童の学力並びに学習意欲の向上に結びつく参考とさせていただきます。

通用門の施錠についてご意見をいただきました。様々な管理と同様、通用門に関しましても安全管理を徹底してまいります。

その他にも、お褒めやお喜びの声を多数いただきました。いろいろな角度からいただきましたご意見を今後の学校運営に反映させていこうと考えています。ありがとうございました。



平成28年度前期「学校評価アンケート」ご協力ありがとうございました。学校評価の結果を報告いたします。



子どもたちがより良い教育を享受できるよう教育活動の目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について検証し改善を図り、子どもたちにさらにつけていくべき力を目指して取り組むため、「学校評価」を実施しています。平成28年度前期「学校評価アンケート」の集計結果及びその考察がまとまりましたので、お知らせいたします。

この結果及び考察は、後日、学校運営協議会において本校の様子や課題について報告し、ご示唆や解決に向けてのご意見をいただく予定をしています。別途、お知らせさせていただきます。

本結果を基に、学校・家庭・地域がそれぞれの教育力を発揮して具体的な関わり、協力・連携を考え、よりよい子どもたちの成長への支援と学校生活のための改善をはかりながら、今後の教育の充実にむけ努めていけるよう、さらなるご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、結果の集計は「京都市学校評価システム」を活用し、<児童><保護者><教職員>にて取らせていただきましたアンケート10項目の結果の<実現度>の「よくできている」「大体できている」を合わせた到達度を『割合』で示させていただきます。

平成28年度 前期学校評価結果			
質問項目	児童	保護者	教職員
1 子どもは、楽しく学校に行っている。	92.5%	96.2%	98.2%
2 子どもは、進んであいさつができています。	93.4%	78.5%	75.0%
3 子どもは、家で読書をしている。	75.6%	52.3%	81.3%
4 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。	91.5%	92.3%	81.3%
5 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。	92.0%	93.1%	81.3%
6 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨きをし、朝ごはんを食べるなど、基本的な生活習慣が身についている。	84.4%	88.5%	93.8%
7 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。(15分×学年)	85.5%	68.5%	75.0%
8 学校は、わかりやすい授業をしている。	86.0%	92.3%	93.8%
9 学校は、安全面に配慮している。	95.0%	93.8%	93.8%
10 学校には気軽に相談できる教職員がいる。	81.8%	83.8%	98.2%

* <よくできている><大体できている><あまりできていない><できていない>の各項目における3者の回答結果より、『現在の実現(達成)度』を割合で示しています。

* 下線は、達成度が低い状態、及び他の2者と達成度の意識の差があるものです。



『今後も伸ばしていきたいこと』

- * 子どもは楽しく学校に行っている。
- * 学校は、安全面に配慮している。

『さらに取り組むべき課題』

- * 子どもは、家で読書をしている。
- * 学校は、わかりやすい授業をしている。
- * 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。
- * 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。



やさしく 【豊かな心】

1. 子どもは、楽しく学校に行っている。

3者ともに実現度が9割を超え、安定した学校生活を送ることができていると言えます。しかしながら、全ての子どもが安心して学校生活を送るため「楽しく行っている」と思えない個々の児童の思いに寄り添い把握しながら、取り組んでいきます。

4. 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。

児童・保護者共に9割を超え、上記1に併せて多くの児童が安心して学校生活を楽しめていると考えられます。ただ、そう思えない少数の子どもと友だち同士の関わりを気にかけている教職員の状況が結果に表れています。この結果を具体的に把握し、誰もが安心できる学校へ取組を進めます。

2. 子どもは、進んであいさつができています。

児童の「あいさつ」に対する意識の向上は、子どもたちの姿に見られ、昨年度末の本項目の達成度から3%向上していることにも表れています。しかし、保護者・教職員の割合と差が見られました。

これは「自ら」や「場に応じて」などを期待することから生じた差ではと考えられます。「あいさつ」は互いに大切にできる言動であり、人との温かな関係づくりとなる意識を高め「自ら」あいさつしあう学校へと取り組んでいきます。

10. 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。

児童・保護者の達成度と教職員に差が見られ、課題と捉えています。改めて、学校として子どもの願いや思いに寄り添い、指導すべきことは指導しながらも、個々の子どものよさや活動の頑張りや、児童にも保護者の方々にもタイムリーに伝えることを大事にして、真摯な信頼関係を築いていきたいと思っております。

また、スクールカウンセラーの先生をはじめ、様々な立場で子どもたちに関わっていただいている先生方とさらに子どもたちが関わる機会を工夫していきます。



かしく 【確かな学力】

3. 子どもは、家で読書をしている。

児童は昨年末の達成度の割合より10%以上の向上が見られました。けれども、依然として実現度は不十分な状況と言えます。また、保護者と教職員の達成度に30%弱の差が見られるのは、学校では家庭学習に組み入れるなどの取組に手が届かなくて来たからと考えます。しかし、ご家庭で、子どもたちが自ら本を開き、没頭するという姿が見られにくいことの結果ではと考えます。



7. 子どもは、家庭学習(宿題)の習慣が身についている。

家庭学習においても、上記3同様に児童は昨年より4%程の達成度が向上しています。しかし、上保護者・教職員との差が達成度に見られます。家庭学習は自分のペースでスケジュールし、集中して取り組み、自立学習の力を培います。

上記3「家で読書をしている」と併せ、家庭学習の時間や内容の見直しをしていくことが必要だと考えています。学年に応じた家庭学習を生活リズムと併せて児童が考え設定することから取り組み、ご家庭へ家庭学習はもちろん、読書習慣や日々の取組をさらにお伝えし共有しながら、学校と家庭で声かけや協力をしていけるよう取組を考えています。

8. 学校はわかりやすい授業をしている。

3者とも8割を超え、良好な結果とも考えられるものの、児童と(指導者)教職員の達成度の差を課題と考えます。

個々の児童の学習状況をさらに確かに把握し、どの子も見通しを持って、意欲的・主体的に学習に臨み、個のよさや既習を十分に発揮できる授業を展開する授業づくりを、学校として、さらに研鑽していきます。



たくましく 【健やかな体】

5. 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。

児童・保護者とも9割を超え、昨年に続き良好な状況が見られ、「きまりやルールを守る」ことが意識されているといえる結果と言えます。教職員は、さらに子どもたちが、進んできまりやルールを守り、みんなが気持ちのよい生活を送ることができるよう、個々の子どもが考え判断し行動することを目指しているため、厳しく評価したことが結果にも表れています。今後も、様々な場においても、個々の子どもが周りの人や状況を考えて判断・行動していけるよう、日々の学習や生活の中で自ら行動していく力を高めていきたいと思っております。

6. 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨き朝ごはんなど、基本的な生活習慣が身についている。

3者とも8割を超えているものの、課題として考えています。本項目は、子どもたちが健やかに安全に学校生活を送り、個々が持つよさや可能性を十分に発揮しさらに力を高めるための大事な基底です。

基本的な生活習慣の柱である「早寝・早起き、洗顔・歯みがき、朝ごはん・排便」について、年2回の生活点検だけでなく、日々の健康観察を主に指導や声かけをさらに進め、子どもたち個々の生活リズムを把握し、ご家庭とより連携を強めたいと思っております。



9. 学校は、安全面に配慮している。

3者とも達成度の割合から「良好な状況」と考えられます。特に、児童は「安全に気をつけて安心して活動できている」という質問項目に対し95%の達成度と回答しています。児童の安全意識が向上していると嬉しい結果として捉えられます。今後、さらに学校生活におけるルールについて子どもたち自らが考えていく機会を増やし、子どもたちの安全意識の向上と、行動化を高めていきたいと思っております。

北醍醐小学校の子どもたちのよさと、伸ばしたい力

素直で、人懐こく、温和である。

知的な好奇心が高く、理解的な学習の意欲が旺盛である。

すべきことがわかると、仲間と協力し合い、活発に活動する。

家庭や地域で、大切にされてきたことを実感しており、自尊感情が高い。



北醍醐小学校の子どもたちは、以上のようなよさの特徴があります。そのため、授業をはじめ見通しがもてる学校生活の活動においては、意欲的であり楽しんで活動しています。

しかしながら、子どもたちの未来を考えた時、「子どもたちの6割程が、大学卒業後、今は存在していない職業に就く。」「さらに今後、仕事の自動化が進む可能性が高い。」といったことを予測する専門家の声があります。子どもたちは、これまで以上に複雑で変化の激しい社会で生きる、様々な国の人々と異なった文化や価値観を理解しながら関わっていく、今までの経験や概念では解決しにくい社会状況と向き合うといったことが、子どもたちの将来に待ち受けています。このような子どもたちの将来を見据え、今、子どもたちは、義務教育で「何を知って、何ができ、それらをどう使って、主体的に判断したり、協力して解決したりする」力を培い、伸ばしていくことが求められています。これは、まさに北醍醐小学校の子どもたちに育み、伸ばさせていきたい力でもあります。

「学校だより4月号」にてお伝えしていますように、北醍醐小学校では、子どもたちが、人生の歩みにおいて社会で、「自ら主体となって生きる子ども」を願っています。そのため、全ての教育活動を通して、「自分を知り、自分を律する力 課題を見つけ、解決する力 夢や希望をつくりあげる力 人と共に社会を生きる力 社会に貢献する力」の5つの

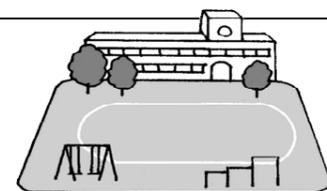
力を培うことを目指し、学校教育目標に表わして取り組んでいるところです。

北醍醐小学校の子どもたちは、学習したことを「理解する・技能を身につける」力が高いです。また、その力はすべきことを示されたり、経験(慣れていること)したりしたことの中で、安心して発揮します。しかし、その力を基に、北醍醐小学校の子どもたちが、「『主体的に』活用して創り出す、『自ら』考え判断して行動する、互いに知識や技能を出し合って問題を解決する」姿へとしていくことが、これからを生きる子どもたちの課題と考えています。

今回、第1回学校評価のアンケート集計結果にても、多くの項目で子どもたちが、「主体的に」状況を捉えて判断・行動したり、「なぜそうすべきか」を理解して「自ら」の生活や活動をよりよく進めていったりするための力を育成していくことを改めて実感しています。自分の健康や安全のために「主体的に」生活リズムを整える、「自ら」あいさつすることでさらに人との関係を気持ちのよいものにしていく、授業で学習した人物について「自ら」本を開き探る、といった具体的な姿を意識し、「主体的に」「自ら」をキーポイントに、あらゆる学校生活の場で取り組んでいきたいと思えます。

そのためにも、指示や大人の思いを示すことを控え、子どもたちが情報や状況から考えて、判断したり進めたりする機会を大切にしていきます。同時に、子どもたちの判断や活動を「褒める」「認める」ことを大事にし、子どもたちの『主体的』な力を伸ばしていきたいと思えます。

北醍醐小学校の子どもたちがもっている力や可能性を、社会の中で発揮していけるよう、ぜひ、ご家庭や地域での生活においても『主体的』『自ら』をキーポイントに関わっていただき、『主体的』な姿を、共に応援していただくと幸いです。よろしくお願いいたします。



学校生活全体に関わるご意見・お考え

掃除時間の取り扱いに関してご意見をいただきました。今年度、初めての試みとして実施しておりますので、その成果と課題を更に検討してまいります。

図書室利用に関してご意見をいただきました。可能な範囲で図書室の開放をしておりますが、更なる開放時間を検討してまいります。

二足制についてご意見をいただきました。二足制仕様の校舎及び設備でないため、ご指摘のように廊下はかなり汚れが目立ちます。しかし一足制にすると教室内の汚れがひどくなるため二足制は継続いたします。

修学旅行についてご意見をいただきました。名古屋方面となり遠方を望まれるところですが、修学旅行実施には上限の料金が定められているため出かける範囲が限定されます。

教職員の不十分な挨拶や気軽に相談できないところをご指摘いただきました。この点は十分に反省し、声をかけていただけるよう心がけてまいります。

学校備品についてご意見をいただきました。可能な範囲で必要なものを揃え、対応いたします。



遊び時間の活用についてご意見をいただきました。子どもたちが、それぞれの思いを十分に出来る時間になるよう対応してまいります。

土曜学習についてご意見をいただきました。自らの課題を克服するために必要となる力を培うという観点から今年度は自分で学習課題を準備していただくという積極的な参加スタイルを基本としました。

なお、実施回数につきましては、年度当初の計画準備不足から予定回数が減ってしまいました。申し訳ありませんでした。

学習指導に関して貴重なご意見をいただきました。児童の学力並びに学習意欲の向上に結びつく参考とさせていただきます。

通用門の施錠についてご意見をいただきました。様々な管理と同様、通用門に関しましても安全管理を徹底してまいります。

その他にも、お褒めやお喜びの声を多数いただきました。いろいろな角度からいただきましたご意見を今後の学校運営に反映させていこうと考えています。ありがとうございました。



平成28年度前期「学校評価アンケート」ご協力ありがとうございました。学校評価の結果を報告いたします。



子どもたちがより良い教育を享受できるよう教育活動の目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について検証し改善を図り、子どもたちにさらにつけていくべき力を目指して取り組むため、「学校評価」を実施しています。平成28年度前期「学校評価アンケート」の集計結果及びその考察がまとまりましたので、お知らせいたします。

この結果及び考察は、後日、学校運営協議会において本校の様子や課題について報告し、ご示唆や解決に向けてのご意見をいただく予定をしています。別途、お知らせさせていただきます。

本結果を基に、学校・家庭・地域がそれぞれの教育力を発揮して具体的な関わり、協力・連携を考え、よりよい子どもたちの成長への支援と学校生活のための改善をはかりながら、今後の教育の充実にむけ努めていけるよう、さらなるご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、結果の集計は「京都市学校評価システム」を活用し、<児童><保護者><教職員>にて取らせていただきましたアンケート10項目の結果の<実現度>の「よくできている」「大体できている」を合わせた到達度を『割合』で示させていただきます。

平成28年度	前期学校評価結果		
質問項目	児童	保護者	教職員
1 子どもは、楽しく学校に行っている。	92.5%	96.2%	98.2%
2 子どもは、進んであいさつができています。	93.4%	78.5%	75.0%
3 子どもは、家で読書をしている。	75.6%	52.3%	81.3%
4 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。	91.5%	92.3%	81.3%
5 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。	92.0%	93.1%	81.3%
6 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨きをし、朝ごはんを食べるなど、基本的な生活習慣が身についている。	84.4%	88.5%	93.8%
7 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。(15分×学年)	85.5%	68.5%	75.0%
8 学校は、わかりやすい授業をしている。	86.0%	92.3%	93.8%
9 学校は、安全面に配慮している。	95.0%	93.8%	93.8%
10 学校には気軽に相談できる教職員がいる。	81.8%	83.8%	98.2%

* <よくできている><大体できている><あまりできていない><できていない>の各項目における3者の回答結果より、『現在の実現(達成)度』を割合で示しています。

* 下線は、達成度が低い状態、及び他の2者と達成度の意識の差があるものです。



『今後も伸ばしていきたいこと』

- * 子どもは楽しく学校に行っている。
- * 学校は、安全面に配慮している。

『さらに取り組むべき課題』

- * 子どもは、家で読書をしている。
- * 学校は、わかりやすい授業をしている。
- * 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。
- * 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。



やさしく 【豊かな心】

1. 子どもは、楽しく学校に行っている。

3者ともに実現度が9割を超え、安定した学校生活を送ることができていると言えます。しかしながら、全ての子どもが安心して学校生活を送るため「楽しく行っている」と思えない個々の児童の思いに寄り添い把握しながら、取り組んでいきます。

4. 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。

児童・保護者共に9割を超え、上記1に併せて多くの児童が安心して学校生活を楽しくしていると考えられます。ただ、そう思えない少数の子どもと友だち同士の関わりを気にかけている教職員の状況が結果に表れています。この結果を具体的に把握し、誰もが安心できる学校へ取組を進めます。

2. 子どもは、進んであいさつができています。

児童の「あいさつ」に対する意識の向上は、子どもたちの姿に見られ、昨年度末の本項目の達成度から3%向上していることにも表れています。しかし、保護者・教職員の割合と差が見られました。

これは「自ら」や「場に応じて」などを期待することから生じた差ではと考えられます。「あいさつ」は互いに大切にする言動であり、人との温かな関係づくりとなる意識を高め「自ら」あいさつしあう学校へと取り組んでいきます。



10. 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。

児童・保護者の達成度と教職員に差が見られ、課題と捉えています。改めて、学校として子どもの願いや思いに寄り添い、指導すべきことは指導しながらも、個々の子どものよさや活動の頑張りや、児童にも保護者の方々にもタイムリーに伝えることを大事にして、真摯な信頼関係を築いていきたいと思っております。

また、スクールカウンセラーの先生をはじめ、様々な立場で子どもたちに関わっていただいている先生方とさらに子どもたちが関わる機会を工夫していきます。

かしく 【確かな学力】

3. 子どもは、家で読書をしている。

児童は昨年末の達成度の割合より10%以上の向上が見られました。けれども、依然として実現度は不十分な状況と言えます。また、保護者と教職員の達成度に30%弱の差が見られるのは、学校では家庭学習に組み入れるなどの取組に手ごたえが出てきたからと考えます。しかし、ご家庭で、子どもたちが自ら本を開き、没頭するという姿が見られにくいことの結果ではと考えます。



7. 子どもは、家庭学習(宿題)の習慣が身についている。

家庭学習においても、上記3同様に児童は昨年末より4%程の達成度が向上しています。しかし、上保護者・教職員との差が達成度に見られます。家庭学習は自分のペースでスケジュールし、集中して取り組み、自立学習の力を培います。

上記3「家で読書をしている」と併せ、家庭学習の時間や内容の見直しをしていくことが必要だと考えています。学年に応じた家庭学習を生活リズムと併せて児童が考え設定することから取り組み、ご家庭へ家庭学習はもちろん、読書習慣や日々の取組をさらにお伝えし共有しながら、学校と家庭で声かけや協力をしていけるよう取組を考えています。

8. 学校はわかりやすい授業をしている。

3者とも8割を超え、良好な結果とも考えられるものの、児童と(指導者)教職員の達成度の差を課題と考えます。

個々の児童の学習状況をさらに確かに把握し、どの子も見通しを持って、意欲的・主体的に学習に臨み、個のよさや既習を十分に発揮できる授業を展開する授業づくりを、学校として、さらに研鑽していきます。



たくましく 【健やかな体】

5. 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。

児童・保護者とも9割を超え、昨年に続き良好な状況が見られ、「きまりやルールを守る」ことが意識されているといえる結果と言えます。教職員は、さらに子どもたちが、進んできまりやルールを守り、みんなが気持ちのよい生活を送ることができるよう、個々の子どもが考え判断し行動することを目指しているため、厳しく評価したことが結果にも表れています。今後も、様々な場においても、個々の子どもが周りの人や状況を考えて判断・行動していけるよう、日々の学習や生活の中で自ら行動していく力を高めていきたいと思っております。

6. 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨き朝ごはんなど、基本的な生活習慣が身についている。

3者とも8割を超えているものの、課題として考えています。本項目は、子どもたちが健やかに安全に学校生活を送り、個々が持つよさや可能性を十分に発揮しさらに力を高めるための大事な基底です。

基本的な生活習慣の柱である「早寝・早起き、洗顔・歯みがき、朝ごはん・排便」について、年2回の生活点検だけでなく、日々の健康観察を主に指導や声かけをさらに進め、子どもたち個々の生活リズムを把握し、ご家庭とより連携を強めたいと思っております。



9. 学校は、安全面に配慮している。

3者とも達成度の割合から「良好な状況」と考えられます。特に、児童は「安全に気をつけて安心して活動できている」という質問項目に対し95%の達成度と回答しています。児童の安全意識が向上していると嬉しい結果として捉えられます。今後、さらに学校生活におけるルールについて子どもたち自らが考えていく機会を増やし、子どもたちの安全意識の向上と、行動化を高めていきたいと思っております。

北醍醐小学校の子どもたちのよさと、伸ばしたい力

素直で、人懐こく、温和である。

知的好奇心が高く、理解的な学習の意欲が旺盛である。

すべきことがわかると、仲間と協力し合い、活発に活動する。

家庭や地域で、大切にされてきたことを実感しており、自尊感情が高い。



北醍醐小学校の子どもたちは、以上のようなよさの特徴があります。そのため、授業をはじめ見通しがもてる学校生活の活動においては、意欲的であり楽しんで活動しています。

しかしながら、子どもたちの未来を考えた時、「子どもたちの6割程が、大学卒業後、今は存在していない職業に就く。」「さらに今後、仕事の自動化が進む可能性が高い。」といったことを予測する専門家の声があります。子どもたちは、これまで以上に複雑で変化の激しい社会で生きる、様々な国の人々と異なった文化や価値観を理解しながら関わっていく、今までの経験や概念では解決しにくい社会状況と向き合うといったことが、子どもたちの将来に待ち受けています。このような子どもたちの将来を見据え、今、子どもたちは、義務教育で「何を知って、何ができ、それらをどう使って、主体的に判断したり、協力して解決したりする」力を培い、伸ばしていくことが求められています。これは、まさに北醍醐小学校の子どもたちに育み、伸ばさせていきたい力でもあります。

「学校だより4月号」にてお伝えしていますように、北醍醐小学校では、子どもたちが、人生の歩みにおいて社会で、「自ら主体となって生きる子ども」を願っています。そのため、全ての教育活動を通して、「自分を知り、自分を律する力 課題を見つけ、解決する力 夢や希望をつくりあげる力 人と共に社会を生きる力 社会に貢献する力」の5つの

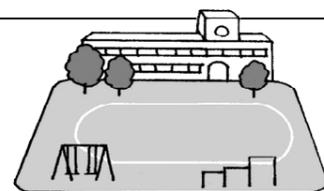
力を培うことを目指し、学校教育目標に表わして取り組んでいるところです。

北醍醐小学校の子どもたちは、学習したことを「理解する・技能を身につける」力が高いです。また、その力はすべきことを示されたり、経験(慣れていること)したりしたことの中で、安心して発揮します。しかし、その力を基に、北醍醐小学校の子どもたちが、「『主体的に』活用して創り出す、『自ら』考え判断して行動する、互いに知識や技能を出し合って問題を解決する」姿へとしていくことが、これからを生きる子どもたちの課題と考えています。

今回、第1回学校評価のアンケート集計結果にても、多くの項目で子どもたちが、「主体的に」状況を捉えて判断・行動したり、「なぜそうすべきか」を理解して「自ら」の生活や活動をよりよく進めていったりするための力を育成していくことを改めて実感しています。自分の健康や安全のために「主体的に」生活リズムを整える、「自ら」あいさつすることでさらに人との関係を気持ちのよいものにしていく、授業で学習した人物について「自ら」本を開き探る、といった具体的な姿を意識し、「主体的に」「自ら」をキーポイントに、あらゆる学校生活の場で取り組んでいきたいと思えます。

そのためにも、指示や大人の思いを示すことを控え、子どもたちが情報や状況から考えて、判断したり進めたりする機会を大切にしていきます。同時に、子どもたちの判断や活動を「褒める」「認める」ことを大事にし、子どもたちの『主体的』な力を伸ばしていきたいと思えます。

北醍醐小学校の子どもたちがもっている力や可能性を、社会の中で発揮していけるよう、ぜひ、ご家庭や地域での生活においても『主体的』『自ら』をキーポイントに関わっていただき、『主体的』な姿を、共に応援していただくと幸いです。よろしくお願いいたします。



学校生活全体に関わるご意見・お考え

掃除時間の取り扱いに関してご意見をいただきました。今年度、初めての試みとして実施しておりますので、その成果と課題を更に検討してまいります。

図書室利用に関してご意見をいただきました。可能な範囲で図書室の開放をしておりますが、更なる開放時間を検討してまいります。

二足制についてご意見をいただきました。二足制仕様の校舎及び設備でないため、ご指摘のように廊下はかなり汚れが目立ちます。しかし一足制にすると教室内の汚れがひどくなるため二足制は継続いたします。

修学旅行についてご意見をいただきました。名古屋方面となり遠方を望まれるところですが、修学旅行実施には上限の料金が定められているため出かける範囲が限定されます。

教職員の不十分な挨拶や気軽に相談できないところをご指摘いただきました。この点は十分に反省し、声をかけていただけるよう心がけてまいります。

学校備品についてご意見をいただきました。可能な範囲で必要なものを揃え、対応いたします。



遊び時間の活用についてご意見をいただきました。子どもたちが、それぞれの思いを十分に出来る時間になるよう対応してまいります。

土曜学習についてご意見をいただきました。自らの課題を克服するために必要となる力を培うという観点から今年度は自分で学習課題を準備していただくという積極的な参加スタイルを基本としました。

なお、実施回数につきましては、年度当初の計画準備不足から予定回数が減ってしまいました。申し訳ありませんでした。

学習指導に関して貴重なご意見をいただきました。児童の学力並びに学習意欲の向上に結びつく参考とさせていただきます。

通用門の施錠についてご意見をいただきました。様々な管理と同様、通用門に関しましても安全管理を徹底してまいります。

その他にも、お褒めやお喜びの声を多数いただきました。いろいろな角度からいただきましたご意見を今後の学校運営に反映させていこうと考えています。ありがとうございました。



平成28年度前期「学校評価アンケート」ご協力ありがとうございました。学校評価の結果を報告いたします。



子どもたちがより良い教育を享受できるよう教育活動の目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について検証し改善を図り、子どもたちにさらにつけていくべき力を目指して取り組むため、「学校評価」を実施しています。平成28年度前期「学校評価アンケート」の集計結果及びその考察がまとまりましたので、お知らせいたします。

この結果及び考察は、後日、学校運営協議会において本校の様子や課題について報告し、ご示唆や解決に向けてのご意見をいただく予定をしています。別途、お知らせさせていただきます。

本結果を基に、学校・家庭・地域がそれぞれの教育力を発揮して具体的な関わり、協力・連携を考え、よりよい子どもたちの成長への支援と学校生活のための改善をはかりながら、今後の教育の充実にむけ努めていけるよう、さらなるご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、結果の集計は「京都市学校評価システム」を活用し、<児童><保護者><教職員>にて取らせていただきましたアンケート10項目の結果の<実現度>の「よくできている」「大体できている」を合わせた到達度を『割合』で示させていただきます。

平成28年度	前期学校評価結果		
質問項目	児童	保護者	教職員
1 子どもは、楽しく学校に行っている。	92.5%	96.2%	98.2%
2 子どもは、進んであいさつができています。	93.4%	78.5%	75.0%
3 子どもは、家で読書をしている。	75.6%	52.3%	81.3%
4 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。	91.5%	92.3%	81.3%
5 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。	92.0%	93.1%	81.3%
6 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨きをし、朝ごはんを食べるなど、基本的な生活習慣が身についている。	84.4%	88.5%	93.8%
7 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。(15分×学年)	85.5%	68.5%	75.0%
8 学校は、わかりやすい授業をしている。	86.0%	92.3%	93.8%
9 学校は、安全面に配慮している。	95.0%	93.8%	93.8%
10 学校には気軽に相談できる教職員がいる。	81.8%	83.8%	98.2%

* <よくできている><大体できている><あまりできていない><できていない>の各項目における3者の回答結果より、『現在の実現(達成)度』を割合で示しています。

* 下線は、達成度が低い状態、及び他の2者と達成度の意識の差があるものです。

やさしく【豊かな心】

1. 子どもは、楽しく学校に行っている。

3者ともに実現度が9割を超え、安定した学校生活を送ることができていると言えます。しかしながら、全ての子どもが安心して学校生活を送るため「楽しく行っている」と思えない個々の児童の思いに寄り添い把握しながら、取り組んでいきます。

4. 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。

児童・保護者共に9割を超え、上記1に併せて多くの児童が安心して学校生活を楽しんでいると考えられます。ただ、そう思えない少数の子どもと友だち同士の関わりを気にかけている教職員の状況が結果に表れています。この結果を具体的に把握し、誰もが安心できる学校へ取組を進めます。

2. 子どもは、進んであいさつができています。

児童の「あいさつ」に対する意識の向上は、子どもたちの姿に見られ、昨年度末の本項目の達成度から3%向上していることにも表れています。しかし、保護者・教職員の割合と差が見られました。

これは「自ら」や「場に応じて」などを期待することから生じた差ではと考えられます。「あいさつ」は互いに大切にする言動であり、人との温かな関係づくりとなる意識を高め「自ら」あいさつしあう学校へと取り組んでいきます。

10. 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。

児童・保護者の達成度と教職員に差が見られ、課題と捉えています。改めて、学校として子どもの願いや思いに寄り添い、指導すべきことは指導しながらも、個々の子どものよさや活動の頑張りや、児童にも保護者の方々にもタイムリーに伝えることを大事にして、真摯な信頼関係を築いていきたいと思っております。

また、スクールカウンセラーの先生をはじめ、様々な立場で子どもたちに関わっていただいている先生方とさらに子どもたちが関わる機会を工夫していきます。

かしく【確かな学力】

3. 子どもは、家で読書をしている。

児童は昨年末の達成度の割合より10%以上の向上が見られました。けれども、依然として実現度は不十分な状況と言えます。また、保護者と教職員の達成度に30%弱の差が見られるのは、学校では家庭学習に組み入れるなどの取組に手ごたえが出てきたからと考えます。しかし、ご家庭で、子どもたちが自ら本を開き、没頭するという姿が見られにくいことの結果ではと考えます。



7. 子どもは、家庭学習(宿題)の習慣が身についている。

家庭学習においても、上記3同様に児童は昨年末より4%程の達成度が向上しています。しかし、上保護者・教職員との差が達成度に見られます。家庭学習は自分のペースでスケジュールし、集中して取り組み、自立学習の力を培います。

上記3「家で読書をしている」と併せ、家庭学習の時間や内容の見直しをしていくことが必要だと考えています。学年に応じた家庭学習を生活リズムと併せて児童が考え設定することから取り組み、ご家庭へ家庭学習はもちろん、読書習慣や日々の取組をさらにお伝えし共有しながら、学校と家庭で声かけや協力をしていけるよう取組を考えています。

8. 学校はわかりやすい授業をしている。

3者とも8割を超え、良好な結果とも考えられるものの、児童と(指導者)教職員の達成度の差を課題と考えます。

個々の児童の学習状況をさらに確かに把握し、どの子も見通しを持って、意欲的・主体的に学習に臨み、個のよさや既習を十分に発揮できる授業を展開する授業づくりを、学校として、さらに研鑽していきます。



たくましく【健やかな体】

5. 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。

児童・保護者とも9割を超え、昨年に続き良好な状況が見られ、「きまりやルールを守る」ことが意識されているといえる結果と言えます。教職員は、さらに子どもたちが、進んできまりやルールを守り、みんなが気持ちのよい生活を送ることができるよう、個々の子どもが考え判断し行動することを目指しているため、厳しく評価したことが結果にも表れています。今後も、様々な場においても、個々の子どもが周りの人や状況を考えて判断・行動していけるよう、日々の学習や生活の中で自ら行動していく力を高めていきたいと思っております。

6. 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨き朝ごはんなど、基本的な生活習慣が身についている。

3者とも8割を超えているものの、課題として考えています。本項目は、子どもたちが健やかに安全に学校生活を送り、個々が持つよさや可能性を十分に発揮しさらに力を高めるための大事な基底です。

基本的な生活習慣の柱である「早寝・早起き、洗顔・歯みがき、朝ごはん・排便」について、年2回の生活点検だけでなく、日々の健康観察を主に指導や声かけをさらに進め、子どもたち個々の生活リズムを把握し、ご家庭とより連携を強めたいと思っております。

9. 学校は、安全面に配慮している。

3者とも達成度の割合から「良好な状況」と考えられます。特に、児童は「安全に気をつけて安心して活動できている」という質問項目に対し95%の達成度と回答しています。児童の安全意識が向上していると嬉しい結果として捉えられます。今後、さらに学校生活におけるルールについて子どもたち自らが考えていく機会を増やし、子どもたちの安全意識の向上と、行動化を高めていきたいと思っております。



『今後も伸ばしていきたいこと』

- * 子どもは楽しく学校に行っている。
- * 学校は、安全面に配慮している。

『さらに取り組むべき課題』

- * 子どもは、家で読書をしている。
- * 学校は、わかりやすい授業をしている。
- * 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。
- * 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。



北醍醐小学校の子どもたちのよさと、伸ばしたい力

素直で、人懐こく、温和である。

知的好奇心が高く、理解的な学習の意欲が旺盛である。

すべきことがわかると、仲間と協力し合い、活発に活動する。

家庭や地域で、大切にされてきたことを実感しており、自尊感情が高い。



北醍醐小学校の子どもたちは、以上のようなよさの特徴があります。そのため、授業をはじめ見通しがもてる学校生活の活動においては、意欲的であり楽しんで活動しています。

しかしながら、子どもたちの未来を考えた時、「子どもたちの6割程が、大学卒業後、今は存在していない職業に就く。」「さらに今後、仕事の自動化が進む可能性が高い。」といったことを予測する専門家の声があります。子どもたちは、これまで以上に複雑で変化の激しい社会で生きる、様々な国の人々と異なった文化や価値観を理解しながら関わっていく、今までの経験や概念では解決しにくい社会状況と向き合うといったことが、子どもたちの将来に待ち受けています。このような子どもたちの将来を見据え、今、子どもたちは、義務教育で「何を知って、何ができ、それらをどう使って、主体的に判断したり、協力して解決したりする」力を培い、伸ばしていくことが求められています。これは、まさに北醍醐小学校の子どもたちに育み、伸ばさせていきたい力でもあります。

「学校だより4月号」にてお伝えしていますように、北醍醐小学校では、子どもたちが、人生の歩みにおいて社会で、「自ら主体となって生きる子ども」を願っています。そのため、全ての教育活動を通して、「自分を知り、自分を律する力 課題を見つけ、解決する力 夢や希望をつくりあげる力 人と共に社会を生きる力 社会に貢献する力」の5つの

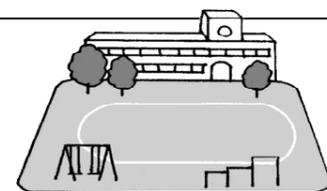
力を培うことを目指し、学校教育目標に表わして取り組んでいるところです。

北醍醐小学校の子どもたちは、学習したことを「理解する・技能を身につける」力が高いです。また、その力はすべきことを示されたり、経験(慣れていること)したりしたことの中で、安心して発揮します。しかし、その力を基に、北醍醐小学校の子どもたちが、「『主体的に』活用して創り出す、『自ら』考え判断して行動する、互いに知識や技能を出し合って問題を解決する」姿へとしていくことが、これから生きる子どもたちの課題と考えています。

今回、第1回学校評価のアンケート集計結果にても、多くの項目で子どもたちが、「主体的に」状況を捉えて判断・行動したり、「なぜそうすべきか」を理解して「自ら」の生活や活動をよりよく進めていったりするための力を育成していくことを改めて実感しています。自分の健康や安全のために「主体的に」生活リズムを整える、「自ら」あいさつすることでさらに人との関係を気持ちのよいものにしていく、授業で学習した人物について「自ら」本を開き探る、といった具体的な姿を意識し、「主体的に」「自ら」をキーポイントに、あらゆる学校生活の場で取り組んでいきたいと思えます。

そのためにも、指示や大人の思いを示すことを控え、子どもたちが情報や状況から考えて、判断したり進めたりする機会を大切にしていきます。同時に、子どもたちの判断や活動を「褒める」「認める」ことを大事にし、子どもたちの『主体的』な力を伸ばしていきたいと思えます。

北醍醐小学校の子どもたちがもっている力や可能性を、社会の中で発揮していけるよう、ぜひ、ご家庭や地域での生活においても『主体的』『自ら』をキーポイントに関わっていただき、『主体的』な姿を、共に応援していただくと幸いです。よろしくお願いいたします。



学校生活全体に関わるご意見・お考え

掃除時間の取り扱いに関してご意見をいただきました。今年度、初めての試みとして実施しておりますので、その成果と課題を更に検討してまいります。

図書室利用に関してご意見をいただきました。可能な範囲で図書室の開放をしておりますが、更なる開放時間を検討してまいります。

二足制についてご意見をいただきました。二足制仕様の校舎及び設備でないため、ご指摘のように廊下はかなり汚れが目立ちます。しかし一足制にすると教室内の汚れがひどくなるため二足制は継続いたします。

修学旅行についてご意見をいただきました。名古屋方面となり遠方を望まれるところですが、修学旅行実施には上限の料金が定められているため出かける範囲が限定されます。

教職員の不十分な挨拶や気軽に相談できないところをご指摘いただきました。この点は十分に反省し、声をかけていただけるよう心がけてまいります。

学校備品についてご意見をいただきました。可能な範囲で必要なものを揃え、対応いたします。



遊び時間の活用についてご意見をいただきました。子どもたちが、それぞれの思いを十分に出来る時間になるよう対応してまいります。

土曜学習についてご意見をいただきました。自らの課題を克服するために必要となる力を培うという観点から今年度は自分で学習課題を準備していただくという積極的な参加スタイルを基本としました。

なお、実施回数につきましては、年度当初の計画準備不足から予定回数が減ってしまいました。申し訳ありませんでした。

学習指導に関して貴重なご意見をいただきました。児童の学力並びに学習意欲の向上に結びつく参考とさせていただきます。

通用門の施錠についてご意見をいただきました。様々な管理と同様、通用門に関しましても安全管理を徹底してまいります。

その他にも、お褒めやお喜びの声を多数いただきました。いろいろな角度からいただきましたご意見を今後の学校運営に反映させていこうと考えています。ありがとうございました。



平成28年度前期「学校評価アンケート」ご協力ありがとうございました。学校評価の結果を報告いたします。



子どもたちがより良い教育を享受できるよう教育活動の目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について検証し改善を図り、子どもたちにさらにつけていくべき力を目指して取り組むため、「学校評価」を実施しています。平成28年度前期「学校評価アンケート」の集計結果及びその考察がまとまりましたので、お知らせいたします。

この結果及び考察は、後日、学校運営協議会において本校の様子や課題について報告し、ご示唆や解決に向けてのご意見をいただく予定をしています。別途、お知らせさせていただきます。

本結果を基に、学校・家庭・地域がそれぞれの教育力を発揮して具体的な関わり、協力・連携を考え、よりよい子どもたちの成長への支援と学校生活のための改善をはかりながら、今後の教育の充実にむけ努めていけるよう、さらなるご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、結果の集計は「京都市学校評価システム」を活用し、<児童><保護者><教職員>にて取らせていただきましたアンケート10項目の結果の<実現度>の「よくできている」「大体できている」を合わせた到達度を『割合』で示させていただきます。

平成28年度	前期学校評価結果		
質問項目	児童	保護者	教職員
1 子どもは、楽しく学校に行っている。	92.5%	96.2%	98.2%
2 子どもは、進んであいさつができています。	93.4%	78.5%	75.0%
3 子どもは、家で読書をしている。	75.6%	52.3%	81.3%
4 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。	91.5%	92.3%	81.3%
5 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。	92.0%	93.1%	81.3%
6 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨きをし、朝ごはんを食べるなど、基本的な生活習慣が身についている。	84.4%	88.5%	93.8%
7 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。(15分×学年)	85.5%	68.5%	75.0%
8 学校は、わかりやすい授業をしている。	86.0%	92.3%	93.8%
9 学校は、安全面に配慮している。	95.0%	93.8%	93.8%
10 学校には気軽に相談できる教職員がいる。	81.8%	83.8%	98.2%

* <よくできている><大体できている><あまりできていない><できていない>の各項目における3者の回答結果より、『現在の実現(達成)度』を割合で示しています。

* 下線は、達成度が低い状態、及び他の2者と達成度の意識の差があるものです。



『今後も伸ばしていきたいこと』

- * 子どもは楽しく学校に行っている。
- * 学校は、安全面に配慮している。

『さらに取り組むべき課題』

- * 子どもは、家で読書をしている。
- * 学校は、わかりやすい授業をしている。
- * 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。
- * 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。



やさしく 【豊かな心】

1. 子どもは、楽しく学校に行っている。

3者ともに実現度が9割を超え、安定した学校生活を送ることができていると言えます。しかしながら、全ての子どもが安心して学校生活を送るため「楽しく行っている」と思えない個々の児童の思いに寄り添い把握しながら、取り組んでいきます。

4. 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。

児童・保護者共に9割を超え、上記1に併せて多くの児童が安心して学校生活を楽しくしていると考えられます。ただ、そう思えない少数の子どもと友だち同士の関わりを気にかけている教職員の状況が結果に表れています。この結果を具体的に把握し、誰もが安心できる学校へ取組を進めます。

2. 子どもは、進んであいさつができています。

児童の「あいさつ」に対する意識の向上は、子どもたちの姿に見られ、昨年度末の本項目の達成度から3%向上していることにも表れています。しかし、保護者・教職員の割合と差が見られました。

これは「自ら」や「場に応じて」などを期待することから生じた差ではと考えられます。「あいさつ」は互いに大切にする言動であり、人との温かな関係づくりとなる意識を高め「自ら」あいさつしあう学校へと取り組んでいきます。

10. 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。

児童・保護者の達成度と教職員に差が見られ、課題と捉えています。改めて、学校として子どもの願いや思いに寄り添い、指導すべきことは指導しながらも、個々の子どものよさや活動の頑張りや、児童にも保護者の方々にもタイムリーに伝えることを大事にして、真摯な信頼関係を築いていきたいと思っております。

また、スクールカウンセラーの先生をはじめ、様々な立場で子どもたちに関わっていただいている先生方とさらに子どもたちが関わる機会を工夫していきます。



かしく 【確かな学力】

3. 子どもは、家で読書をしている。

児童は昨年末の達成度の割合より10%以上の向上が見られました。けれども、依然として実現度は不十分な状況と言えます。また、保護者と教職員の達成度に30%弱の差が見られるのは、学校では家庭学習に組み入れるなどの取組に手ごたえが出てきたからと考えます。しかし、ご家庭で、子どもたちが自ら本を開き、没頭するという姿が見られにくいことの結果ではと考えます。



7. 子どもは、家庭学習(宿題)の習慣が身についている。

家庭学習においても、上記3同様に児童は昨年末より4%程の達成度が向上しています。しかし、上保護者・教職員との差が達成度に見られます。家庭学習は自分のペースでスケジュールし、集中して取り組み、自立学習の力を培います。

上記3「家で読書をしている」と併せ、家庭学習の時間や内容の見直しをしていくことが必要だと考えています。学年に応じた家庭学習を生活リズムと併せて児童が考え設定することから取り組み、ご家庭へ家庭学習はもちろん、読書習慣や日々の取組をさらにお伝えし共有しながら、学校と家庭で声かけや協力をしていけるよう取組を考えています。

8. 学校はわかりやすい授業をしている。

3者とも8割を超え、良好な結果とも考えられるものの、児童と(指導者)教職員の達成度の差を課題と考えます。

個々の児童の学習状況をさらに確かに把握し、どの子も見通しを持って、意欲的・主体的に学習に臨み、個のよさや既習を十分に発揮できる授業を展開する授業づくりを、学校として、さらに研鑽していきます。



たくましく 【健やかな体】

5. 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。

児童・保護者とも9割を超え、昨年に続き良好な状況が見られ、「きまりやルールを守る」ことが意識されているといえる結果と言えます。教職員は、さらに子どもたちが、進んできまりやルールを守り、みんなが気持ちのよい生活を送ることができるよう、個々の子どもが考え判断し行動することを目指しているため、厳しく評価したことが結果にも表れています。今後も、様々な場においても、個々の子どもが周りの人や状況を考えて判断・行動していけるよう、日々の学習や生活の中で自ら行動していく力を高めていきたいと思っております。

6. 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨き朝ごはんなど、基本的な生活習慣が身についている。

3者とも8割を超えているものの、課題として考えています。本項目は、子どもたちが健やかに安全に学校生活を送り、個々が持つよさや可能性を十分に発揮しさらに力を高めるための大事な基底です。

基本的な生活習慣の柱である「早寝・早起き、洗顔・歯みがき、朝ごはん・排便」について、年2回の生活点検だけでなく、日々の健康観察を主に指導や声かけをさらに進め、子どもたち個々の生活リズムを把握し、ご家庭とより連携を強めたいと思っております。



9. 学校は、安全面に配慮している。

3者とも達成度の割合から「良好な状況」と考えられます。特に、児童は「安全に気をつけて安心して活動できている」という質問項目に対し95%の達成度と回答しています。児童の安全意識が向上していると嬉しい結果として捉えられます。今後、さらに学校生活におけるルールについて子どもたち自らが考えていく機会を増やし、子どもたちの安全意識の向上と、行動化を高めていきたいと思っております。

北醍醐小学校の子どもたちのよさと、伸ばしたい力

素直で、人懐こく、温和である。

知的好奇心が高く、理解的な学習の意欲が旺盛である。

すべきことがわかると、仲間と協力し合い、活発に活動する。

家庭や地域で、大切にされてきたことを実感しており、自尊感情が高い。



北醍醐小学校の子どもたちは、以上のようなよさの特徴があります。そのため、授業をはじめ見通しがもてる学校生活の活動においては、意欲的であり楽しんで活動しています。

しかしながら、子どもたちの未来を考えた時、「子どもたちの6割程が、大学卒業後、今は存在していない職業に就く。」「さらに今後、仕事の自動化が進む可能性が高い。」といったことを予測する専門家の声があります。子どもたちは、これまで以上に複雑で変化の激しい社会で生きる、様々な国の人々と異なった文化や価値観を理解しながら関わっていく、今までの経験や概念では解決しにくい社会状況と向き合うといったことが、子どもたちの将来に待ち受けています。このような子どもたちの将来を見据え、今、子どもたちは、義務教育で「何を知って、何ができ、それらをどう使って、主体的に判断したり、協力して解決したりする」力を培い、伸ばしていくことが求められています。これは、まさに北醍醐小学校の子どもたちに育み、伸ばさせていきたい力でもあります。

「学校だより4月号」にてお伝えしていますように、北醍醐小学校では、子どもたちが、人生の歩みにおいて社会で、「自ら主体となって生きる子ども」を願っています。そのため、全ての教育活動を通して、「自分を知り、自分を律する力 課題を見つけ、解決する力 夢や希望をつくりあげる力 人と共に社会を生きる力 社会に貢献する力」の5つの

力を培うことを目指し、学校教育目標に表わして取り組んでいるところです。

北醍醐小学校の子どもたちは、学習したことを「理解する・技能を身につける」力が高いです。また、その力はすべきことを示されたり、経験(慣れていること)したりしたことの中で、安心して発揮します。しかし、その力を基に、北醍醐小学校の子どもたちが、「『主体的に』活用して創り出す、『自ら』考え判断して行動する、互いに知識や技能を出し合っ

て問題を解決する」姿へとしていくことが、これから生きる子どもたちの課題と考えています。今回、第1回学校評価のアンケート集計結果にても、多くの項目で子どもたちが、「主体的に」状況を捉えて判断・行動したり、「なぜそうすべきか」を理解して「自ら」の生活や活動をよりよく進めていったりするための力を育成していくことを改めて実感しています。自分の健康や安全のために「主体的に」生活リズムを整える、「自ら」あいさつすることでさらに人との関係を気持ちのよいものにしていく、授業で学習した人物について「自ら」本を開き探る、といった具体的な姿を意識し、「主体的に」「自ら」をキーポイントに、あらゆる学校生活の場で取り組んでいきたいと思ひます。

そのためにも、指示や大人の思いを示すことを控え、子どもたちが情報や状況から考えて、判断したり進めたりする機会を大切にしていきます。同時に、子どもたちの判断や活動を「褒める」「認める」ことを大事にし、子どもたちの『主体的』な力を伸ばしていきたいと思ひます。

北醍醐小学校の子どもたちがもっている力や可能性を、社会の中で発揮していけるよう、ぜひ、ご家庭や地域での生活においても『主体的』『自ら』をキーポイントに関わっていただき、『主体的』な姿を、共に応援していただけると幸いです。よろしくお願ひいたします。



学校生活全体に関わるご意見・お考え

掃除時間の取り扱いに関してご意見をいただきました。今年度、初めての試みとして実施しておりますので、その成果と課題を更に検討してまいります。

図書室利用に関してご意見をいただきました。可能な範囲で図書室の開放をしておりますが、更なる開放時間を検討してまいります。

二足制についてご意見をいただきました。二足制仕様の校舎及び設備でないため、ご指摘のように廊下はかなり汚れが目立ちます。しかし一足制にすると教室内の汚れがひどくなるため二足制は継続いたします。

修学旅行についてご意見をいただきました。名古屋方面となり遠方を望まれるところですが、修学旅行実施には上限の料金が定められているため出かける範囲が限定されます。

教職員の不十分な挨拶や気軽に相談できないところをご指摘いただきました。この点は十分に反省し、声をかけていただけるよう心がけてまいります。

学校備品についてご意見をいただきました。可能な範囲で必要なものを揃え、対応いたします。



遊び時間の活用についてご意見をいただきました。子どもたちが、それぞれの思いを十分に出来る時間になるよう対応してまいります。

土曜学習についてご意見をいただきました。自らの課題を克服するために必要となる力を培うという観点から今年度は自分で学習課題を準備していただくという積極的な参加スタイルを基本としました。

なお、実施回数につきましては、年度当初の計画準備不足から予定回数が減ってしまいました。申し訳ありませんでした。

学習指導に関して貴重なご意見をいただきました。児童の学力並びに学習意欲の向上に結びつく参考とさせていただきます。

通用門の施錠についてご意見をいただきました。様々な管理と同様、通用門に関しましても安全管理を徹底してまいります。

その他にも、お褒めやお喜びの声を多数いただきました。いろいろな角度からいただきましたご意見を今後の学校運営に反映させていこうと考えています。ありがとうございました。

